

(別紙1)

「千葉ものづくり認定製品」申請調書

1 申請者の概要

フリカ`ナ 会 社 名		フリカ`ナ 代表者氏名	
本社所在地	〒		
	T E L		F A X
工場所在地 (千葉県内)	〒		
	T E L		F A X
担 当 者	所属・役職		氏 名
	T E L		E - m a i l
会 社 概 要	設立年月日		U R L
	資 本 金	千円	従業者数
	業 種		
	事業内容		
	主要製品		
	主要取引先		
表 彰 等 (名称・時期)	表彰・受賞		
	I S O 認 証		

※業種は、日本標準産業分類の中分類により記入してください。(例：電気機械器具製造業)

2 申請製品の概要

製品名	※認定された場合、この項目は公表されます。この項目のみが報道された場合でも、何ができるどんな製品なのかが分かる名称を20文字以内で御記入ください。
製品概要	※最初に、製品のキャッチコピーに該当する文を、20文字以内で御記入ください。 ※申請製品の機能や用途・特徴等を簡潔に箇条書きで説明してください。
製品写真及び説明図	※申請製品の写真及び特性や機能、機構等を示す説明図を貼付してください。 ※次頁にわたっても結構ですので、分かりやすく大きな写真・画像を貼付してください。 <p style="text-align: center;">(製品の写真・説明図貼付)</p>

3 申請製品の新規性・優位性

開発の経緯	<p>※申請製品の開発に至る背景、経緯、過程等について記入してください。</p>		
新規性及び優位性	<p>※審査に当たって重要な項目です。 ※申請製品の新規性・優位性について、従来製品と比較して御記入ください。 ※特に、既存の自社製品や、他社製品と比較し、何がどれだけ良くなったのか、優れているのかを必ず記載してください。 ※比較にあたっては、表形式等を利用し、分かりやすく記載してください。</p>		
技術力	<p>※審査に当たって重要な項目です。 ※申請製品のコアとなる技術の難易度、克服した技術的課題など、製品を支える技術力について説明してください。 ※自社のノウハウ等をどのように活かした製品なのか、課題に対してどのような手法を用いたのかを詳細に御記入ください。</p>		
申請製品に関する特許の取得状況 (実用新案等は除く)	出願(公開・登録)番号	出願(公開・登録)年月日	発 明 の 名 称
			<p>※出願準備中、出願中等の段階であれば、その旨を御記入ください。</p>

4 申請製品の市場性

対象市場	<p>※申請製品の対象となる市場(業界、顧客等)について御記入ください。 ※今後展開を計画している市場についても御記入ください。</p>			
市場特性	<p>※対象市場における申請製品のニーズ、市場規模、成長性、競合状況等について説明してください。</p>			
競合優位性	<p>※審査に当たって重要な項目です。 ※市場における申請製品の競合優位性(性能面、価格等)について、その根拠を具体的に説明してください。 ※市場のニーズに対応した工夫・性能が、既製品・他社製品に対してどう優れているのかを表形式にまとめていただけると分かりやすくなります。 ※価格に優位性がある場合、なぜ安く提供できるようになったのか、その要因を御記入ください。</p>			
販売実績	販売開始	年 月	販売単価	
	販売累計	件 千円 (年 月 ~ 年 月)		
	販売先			

5 申請製品の信頼性

生産体制	※申請製品の生産拠点、生産管理体制について説明してください。
品質保証	※申請製品の品質や信頼性を保証するための管理体制、環境負荷低減への配慮等について説明してください。

6 経営状況

過去3期間の 経営状況	決算期	年 月期	年 月期	年 月期
	売上高	千円	千円	千円
経常利益	千円	千円	千円	
自己資本比率	%	%	%	

$$\text{※自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 (\%)$$

7 その他特記事項

※以上の項目では伝えきれなかったアピールポイントについて御記入ください。
 ※経営委状況に不利な数字が入った場合、その原因の分析ができていれば、その内容を御記入ください。